

経営比較分析表（平成28年度決算）

青森県 佐井村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	61.10	107.38	3,240

人口（人）	面積（km ² ）	人口密度（人/km ² ）
2,154	135.04	15.95
処理区域内人口（人）	処理区域面積（km ² ）	処理区域内人口密度（人/km ² ）
1,302	0.36	3,616.67

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

特定環境保全公共下水道事業は、維持管理・起債償還費用を他会計繰入金により充当しているのが現状である。人口減少に伴い水洗化率も若干の増加はあるものの低いままであり、施設利用率も低く料金収入にもあまり変動がみられないため、維持管理費が過大となっていることが原因であると考える。現在は起債の償還ピークであり、今後5年程度は28年度決算と同様の償還が発生すると思われ、また、人口増加も見込めないことから、料金収入の増加も期待できないと予想される。維持管理費の節減に努めるほか、村で行っている補助金交付事業等を活用し1件でも多くの接続を促進する。

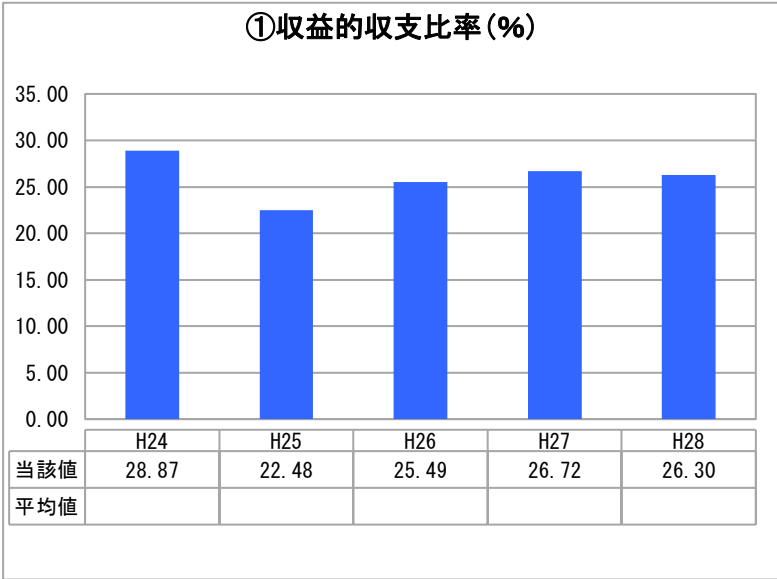
2. 老朽化の状況について

供用開始後から約10年を経過するが、更新・管渠延長はない。施設構造物については、極端な劣化はみられない。施設機械設備については、連続稼働する設備もあるため修繕等が必要な機器もみられる。今後は維持管理計画を策定し適切な機器更新等に努めていきたい。

全体総括

人口減少により水洗化率・施設利用率が低く、料金収入にもあまり変動がみられないため、維持管理費が過大となっていることから、維持管理・起債償還費用を他会計繰入金により充当している現状である。維持管理費の節減、下水道加入の促進等の実施をするとともに、料金改定を検討し収益の向上を図る。また、施設構造物には極端な劣化はみられないものの、施設機械設備については連続稼働する設備もあるため、今後は維持管理計画を策定し適切な機器更新等に努めていきたい。

1. 経営の健全性・効率性



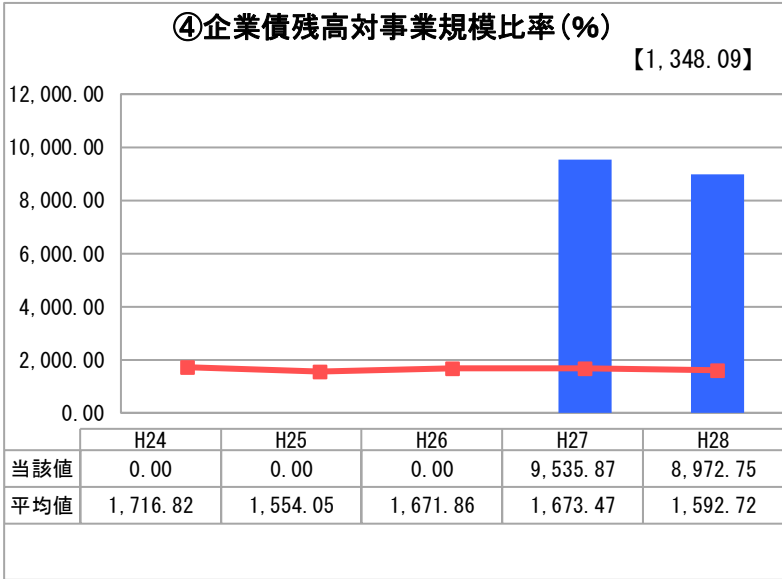
「単年度の収支」



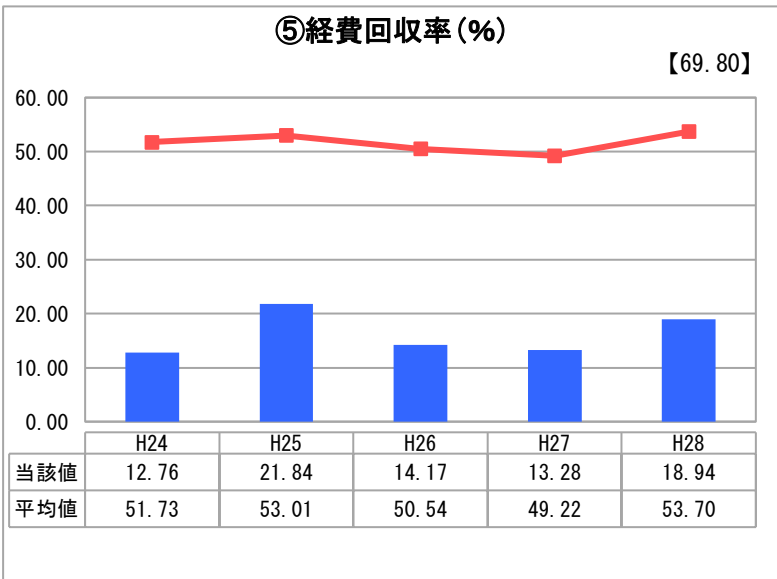
「累積欠損」



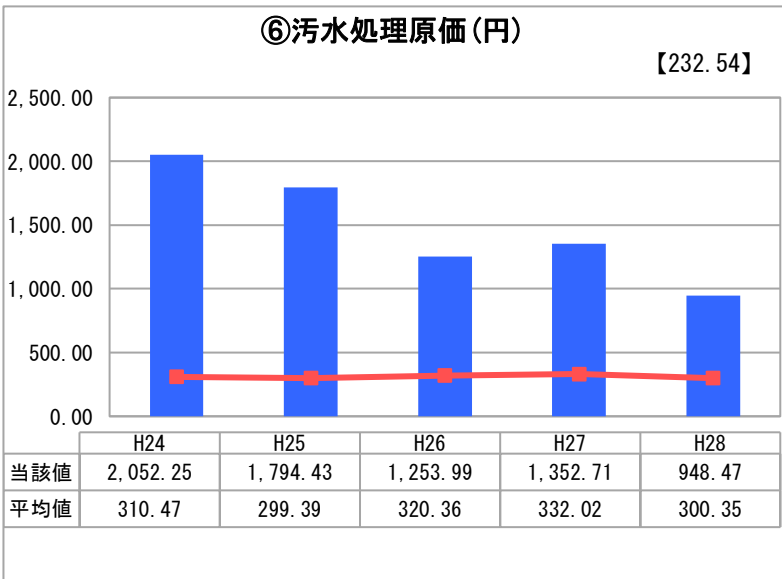
「支払能力」



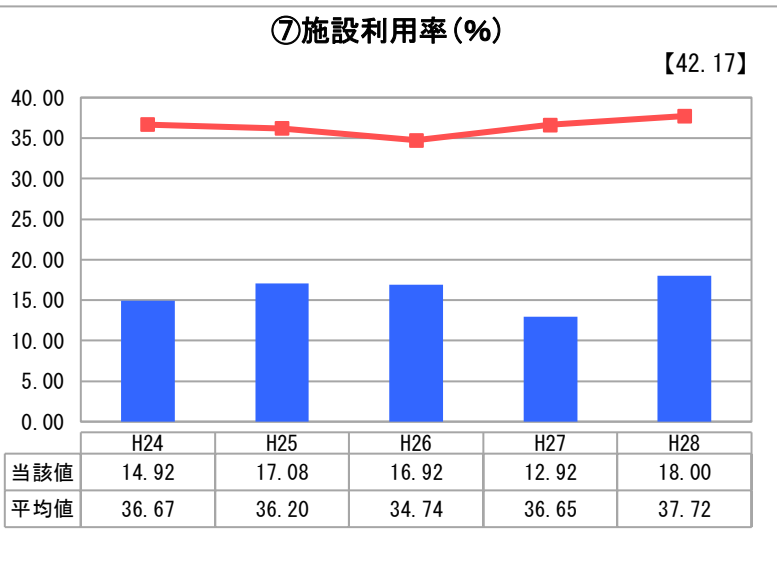
「債務残高」



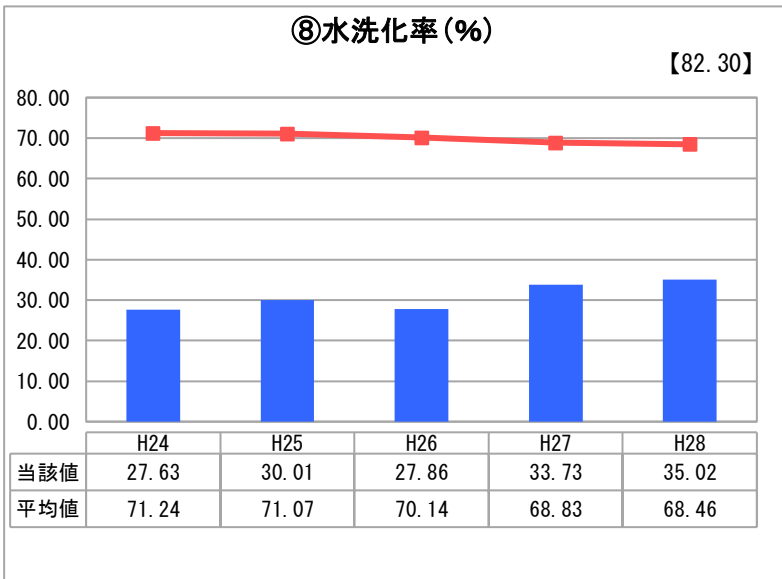
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

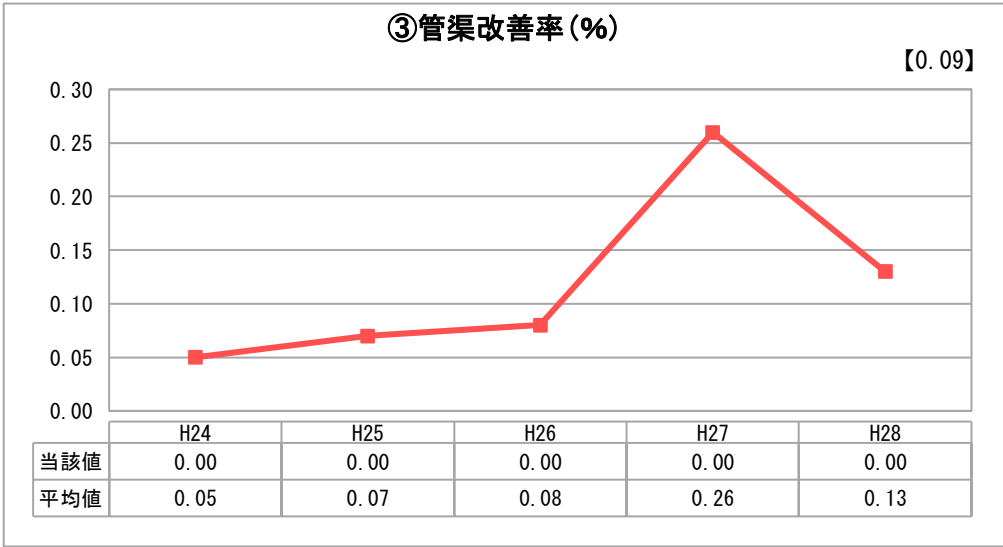
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。